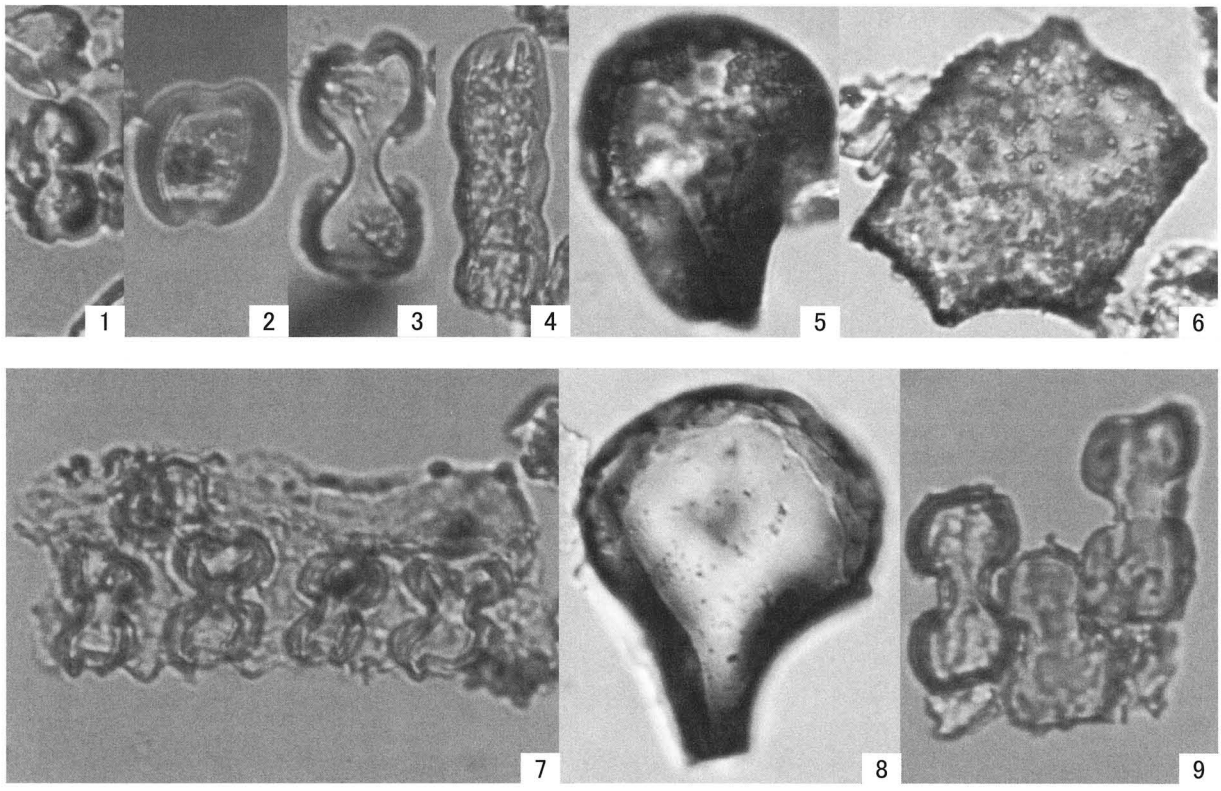
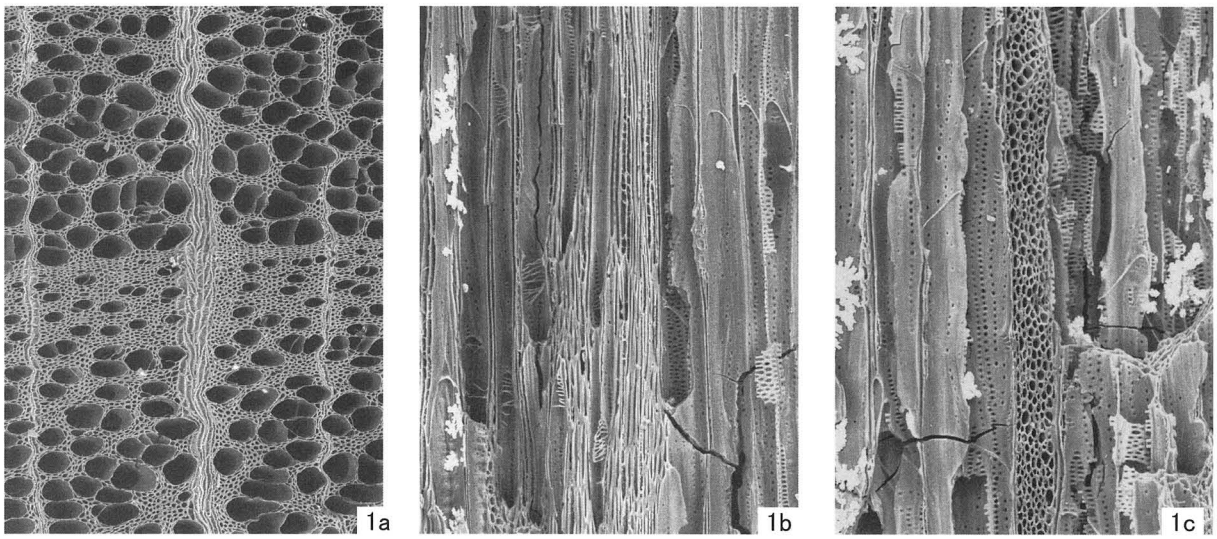
図版22 植物珪酸体・炭化材



50 μm (1-3)　50 μm (4-9)

1. イネ属短細胞珪酸体(SD33-1;覆土)
2. ヨシ属短細胞珪酸体(SD33-1;覆土)
3. ススキ属短細胞珪酸体(SD33-1;覆土)
4. イチゴツナギ亜科短細胞珪酸体(SD33-1;覆土)
5. イネ属機動細胞珪酸体(SD33-1;覆土)
6. クマザサ属機動細胞珪酸体(SD33-1;覆土)
7. イネ属短細胞列(SI-12 カマドB 灰層)
8. イネ属機動細胞珪酸体(SI-12 カマドB 灰層)
9. ススキ属短細胞列(SI-12 カマドB 灰層)



1. ブナ属(SK7;No.1)
a;木口,b;柾目,c;板目

200 μm:a
200 μm:b,c

報 告 書 抄 録

ふりがな	とやましかみしんぽいせきはっくつちょうさほうこくしょ
書名	富山市上新保遺跡発掘調査報告書
シリーズ名	富山市埋蔵文化財調査報告
シリーズ番号	30
編著者名	平岡和夫・折原洋一・古川知明
編集機関	山武考古学研究所
所在地	〒286-0045　千葉県成田市並木町221番
発行機関	富山市教育委員会（埋蔵文化財センター）
所在地	〒930-0091　富山県富山市愛宕町一丁目2-24　TEL076－442－4246
発行年月日	西暦2009年3月31日

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード 市町村名	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
上新保遺跡（かみしんぽいせき）	富山県富山市（とやまけんとやましし）本郷町万年割（ほんごうまちまんねんわり）外（ほか）	16201	201497	36° 39′ 12″	137° 14′ 12″	20071126 ～ 20071220	704㎡	分譲宅地造成

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
上新保遺跡	集落跡 田　畑	奈良 平安	竪穴住居　17 掘立柱建物３ 畑跡	土師器・須恵器・鉄器（紡錘車ほか）・石器（砥石）	竪穴住居の重複が著しい。
	集落跡	中世	土坑 溝 ピット	珠洲	13～15世紀代の集落。

要約	古代及び中世の遺物・遺構が存在する。古代では８～１０世紀初頭の集落と10世紀以降の耕作地（畑）が検出された。集落は竪穴住居17棟と掘立柱建物３棟等が存在し、遺物は土師器・須恵器などの遺物の他に転用硯が存在する。 転用硯は墨書土器の出土が無いにもかかわらず、７点出土しており、識字層の存在が予想される。耕作地は調査区全面に広がるが、経営主体がどのようなものかの解明が今後の課題である。 中世では土坑を中心に検出され、周辺に集落が展開していたことを予測させる。

富山市埋蔵文化財調査報告30

富山市上新保(かみしんぼ)遺跡発掘調査報告書

発行日　2009(平成21)年3月31日
編　集　山武考古学研究所
〒２８６－００４５
千葉県成田市並木町２２１番地
発　行　富山市教育委員会(埋蔵文化財センター)
〒９３０－００９１
富山市愛宕町一丁目２－２４
Tel. ０７６－４４２－４２４６
Fax. ０７６－４４２－５８１０
E-mail:maizoubunka-01@city.toyama.lg.jp
印　刷　株式会社なかたに印刷